# NEURO 2019

The 42<sup>nd</sup> Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

第42回日本神経科学大会 第62回日本神経化学会大会

The 62<sup>nd</sup> Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry

飛翔する脳科学: 命と心の接点

**Brain Science Takes Flight: Bridging the Mind and Life** 

2019年7月25日6-7月28日6

July 25-28, 2019

会場 朱鷺メッセ(新潟市) Venue: Toki Messe (Niigata)

第42回 日本神経科学大会 大会長

岡本 仁 (理化学研究所)

President: Hitoshi Okamoto (RIKEN)

第62回 日本神経化学会大会 大会長

那波 宏之 (新潟大学)

President: Hiroyuki Nawa (Niigata University)

http://www.neuro2019.jnss.org



種協賛案内趣意

### ご挨拶

### 謹啓

この度、第 42 回日本神経科学大会と第 62 回日本神経化学会大会の合同大会を NEURO2019 と名付けて、2019年7月25日(木)から28日(日)にかけて新潟朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター(新潟市)で開催する運びとなりました。日本神経科学学会と日本神経化学会の合同大会は、2013年の京都大会より数えて6年目となります。

かつてヒト脳や神経の動作原理を理解しようと日本神経科学学会は神経生理学を基盤に、神経化学会は神経化学を基盤に両学会は数十年前に発足し、これまでそれぞれの道を歩んできました。しかし昨今、ヒト脳科学研究や基盤神経研究はおおきな広がりを見せ、生物学や医学、薬学はもとより経済学、心理学、情報工学、システム工学、教育学、化学を巻き込んで、脳科学から社会行動や経済現象のシミュレーションを行おうとしています。まさに脳科学、神経研究はボーダーレス化しています。このようなときに、多角的、学際的な学問の融合を目指して本合同大会NEURO2019を企画しました。

脳を構成する神経細胞・グリア細胞の分子操作技術、神経回路の操作技術、とト脳活動の可視化技術、計算論的脳科学などの飛躍的発展によって、現代の脳科学では神経系細胞の集合体が「こころ」の様々な諸機能をどのようにして生み出すのかを理解すること、また、病態としての神経・精神疾患の原因を究明し治療法を探ることが可能となってきました。このように人類が脳の働きを根本的に解明できる素地が整ったことを踏まえて、世界では脳研究を飛躍的に進展させるための脳科学推進政策が取られています。

このように神経科学や神経化学研究の展開がグローバル化している情勢の中で、NEURO2019 では、日本神経科学学会と日本神経化学会が協力して本合同大会を組織し、将来の更なる「飛翔する脳科学:命と心の接点」というスローガンを掲げて、脳科学の現在の最前線を俯瞰した上で、将来への展望を議論できる場所を提供したいと考えています。そのため、NEURO2019 では、従来の外国人研究者のプレナリー講演、国内の著名研究者の特別講演、臨床連携プログラムに加え、若手の育成を重点事項と捕らえ、口頭発表枠の拡充、加えて教育セミナー、若手道場、若手セミナーを計画し、初心者から大学院生や研究員にいたるまで、基礎知識から先端領域への幅広い学びと討論の機会を設定します。

つきましてはこの NEURO2019 に対し、貴社のご協力、ご賛同を頂戴したく、下記のようにご案内申し上げます。是 非とも、多数のご応募を心よりお待ちいたしております。末筆になりましたが、貴社のますますのご繁栄とご発展のお祈り 申し上げております。

謹白

第42回日本神経科学大会 大会長 岡本 仁

第62回日本神経化学会大会大会長 那波 宏之

### ■開催概要

〇名称 和文名 第 42 回日本神経科学大会 第 62 回日本神経化学大会 合同大会 英文名 Neuro2019

○大会テーマ 飛翔する脳科学:命と心の接点

(Brain Science Takes Flight: Bridging the Mind and Life)

○会期 2019年(平成31年) 7月25日(木)~28日(日)

※ただし4日目(7月28日)は13:30までの予定となっております。

教育講演、シンポジウム、一般口演が予定されており、ポスター発表、附設展示会、ランチ

ョンセミナーは行いません。

○会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

### ○開催の目的と意義

脳を構成する神経細胞・グリア細胞の分子操作技術、神経回路の操作技術、ヒト脳活動の可視化技術、計算論的脳科学などの飛躍的発展によって、現代の脳科学では神経系細胞の集合体が「こころ」の様々な諸機能をどのようにして生み出すのかを理解すること、また、病態としての神経・精神疾患の原因を究明し治療法を探ることが可能となってきました。このように人類が脳の働きを根本的に解明できる素地が整ったことを踏まえて、世界では脳研究を飛躍的に進展させるための脳科学推進政策が取られています。

このように神経科学や神経化学研究の展開がグローバル化している情勢の中で、日本神経科学会と日本神経化学会が協力して本合同大会を組織し、旧来の枠を越えた神経科学と神経化学研究の「飛翔」躍進を目指します。この目標に向けて、多分野にわたる世界トップクラスの研究者によるプレナリーレクチャーと特別講演、シンポジウムや教育講演を開催し、参加者の最新知識と先端技術の拡充、分野間の交流の場を提供します。特に若手研究者や脳科学入門者の「知識、技術、交流」のレベルアップを目的として、朝早くから夜遅くまで多彩な企画を盛り込んでいます。

### ○開催計画の概要

- ・プレナリーレクチャー
- •特別講演
- ・シンポジウム
- •教育講演
- •受當記念講演
- 一般口演・ポスター発表
- ・ランチョンセミナー
- ・機器 試薬 書籍 等展示会

### ○予定参加者数 約3,000名

### ■大会組織

### 大会長

岡本 仁 理化学研究所 脳神経科学研究センター 意思決定回路動態研究チーム

那波 宏之 新潟大学 脳研究所 分子神経生物学分野

実行委員長

上口 裕之 理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経細胞動態研究チーム

武井 延之 新潟大学 脳研究所 分子神経生物学分野

実行委員

五十嵐 道弘 新潟大学

池田 和隆 東京都医学総合研究所

 小泉 修一
 山梨大学

 竹林 浩秀
 新潟大学

豊泉 太郎 理化学研究所 脳科学総合研究センター 花嶋 かりな 早稲田大学教育・総合科学学術院

松元 健二 玉川大学 脳科学研究所

南 雅文 北海道大学大学院薬学研究院

プログラム委員長

吉原 良浩 理化学研究所 脳神経科学研究センター システム分子行動学研究チーム

橋本 均 大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学分野

プログラム委員

天野 睦紀 名古屋大学大学院医学系研究科

天野 薫 情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター

天野 大樹 北海道大学大学院薬学研究院

有賀 純 長崎大学生命医科学域

井口 善生 福島県立医科大学

磯田 昌岐 自然科学研究機構生理学研究所

礒村 宜和 玉川大学脳科学研究所

糸原 重美 理化学研究所脳科学総合研究センター 井ノ口 馨 富山大学大学院医学薬学研究部 今井 猛 九州大学大学院医学研究院

岩里 琢治 国立遺伝学研究所

岩田 修永 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

漆谷 真 滋賀医科大学医学部

 生沼 泉
 兵庫県立大学生命理学研究科

 大木 研一
 東京大学大学院医学系研究科

 大須 理英子
 早稲田大学人間科学学術院

 大塚 稔久
 山梨大学大学院総合研究部

 岡 良隆
 東京大学大学院理学系研究科

小川 園子 筑波大学

小口 峰樹 玉川大学脳科学研究所

奧野 浩行 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

尾上 浩隆 京都大学医学研究科付属 脳機能総合研究センター

加藤 忠史 理化学研究所脳科学総合研究センター

上川内 あづさ 名古屋大学大学院理学研究科

川内 健史 先端医療振興財団先端医療センター研究所

菊水 健史 麻布大学獣医学部

喜田 聡 東京農業大学生命科学部 北野 勝則 立命館大学情報理工学部

喜多村 和郎 山梨大学医学部

久場 博司 名古屋大学大学院医学系研究科

小池 康晴 合田 裕紀子 東京工業大学

理化学研究所 脳神経科学研究センター

後藤 由季子 東京大学大学院薬学系研究科 齊藤 実 東京都医学総合研究所

筑波大学システム情報工学研究科 京都大学大学院医学研究科 酒井 宏 櫻井 武

佐藤 真 大阪大学大学院医学系研究科・連合小児 澤本 和延 名古屋市立大学大学院医学研究科 渋木 克栄 新潟大学脳研究所 下郡 智美 理化学研究所 脳神経科学研究センター 大阪大学大学院医学系研究科·連合小児発達学研究科

杉山(矢崎)陽子 沖縄科学技術大学院大学

須原 哲也 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所

関 和彦 国立精神・神経医療研究センター ネ 宋 文杰 熊本大学大学院生命科学研究部 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

征矢 英昭 筑波大学体育系 高橋 琢哉 横浜市立大学大学院医学研究科 高橋 晋 同志社大学大学院脳科学研究科 内匠 透 理化学研究所 脳神経科学研究センター

竹居 光太郎 横浜市立大学大学院生命医科学研究科

竹内 英之横浜市立大学医学部竹本 さやか名古屋大学環境医学研究所田中 真樹北海道大学大学院医学研究科

株式会社国際電気通信基礎技術研究所

田中 沙織 株式会社国際電気通信基礎技術研究 津田 誠 九州大学大学院薬学研究院 照沼 美穂 新潟大学大学院医歯学総合研究科 富田 博秋 東北大学災害科学国際研究所 中島 欽一 九州大学大学院医学研究院 中村 克樹 京都大学霊長類研究所 自然科学研究機構生理学研究所 西村 幸男 東京都医学総合研究所 東京都医学総合研究所 東京都医学総合研究所 東京都所工

野村 真 京都府立医科大学

林(髙木)朗子 群馬大学生体調節研究所 林 康紀 京都大学医学研究科 日置 寛之 順天堂大学医学部

久永 眞市 首都大学東京理学研究科

 
 人水 県巾
 自即へナネル・エテップとは「

 尾藤 晴彦
 東京大学大学院医学系研究科

 平瀬 肇
 理化学研究所 脳神経科学研究センター

 深井 朋樹
 理化学研究所脳科学総合研究センター
 理化学研究所 脳神経科学研究センター 藤澤 茂義

藤田 一郎 大阪大学大学院生命機能研究科 同志社大学大学院脳科学研究科 聖マリアンナ医科大学 藤山 文乃

船橋 利也 古市 貞一 東京理科大学理工学部

古江 秀昌 兵庫医科大学

理化学研究所 脳神経科学研究センター

松下 正之 松下 止之三浦 正幸 琉球大学大学院医学研究科 東京大学大学院薬学系研究科

慶應義塾大学医学部

宮川 剛藤田保健衛生大学総合医科学研究所宮道 和成理化学研究所 生命機能科学研究センター村山 正宜理化学研究所 脳神経科学研究センター

森 郁恵 名古屋大学大学院理学研究科 森田 賢治 東京大学大学院教育学研究科

山末 英典 浜松医科大学医学部

山中 宏二名古屋大学環境医学研究所山本 亘彦大阪大学大学院生命機能研究科吉峰 俊樹大阪大学国際医工情報センター吉村 由美子自然科学研究機構生理学研究所

里宇 明元 慶應義塾大学医学部

渡辺 雅彦 北海道大学大学院医学研究院

渡部 文子 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター臨床医学研究所

### 組織委員

井上 和秀九州大学大学院薬学研究院岩坪 威東京大学大学院医学系研究科大隅 典子東北大学大学院医学系研究科

岡野 栄之 慶應義塾大学医学部

岡部 繁男 東京大学大学院医学系研究科 笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科

川人 光男 佛国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所

高橋 良輔 京都大学大学院医学研究科 鍋島 俊隆 藤田保健衛生大学大学院医療科

東田 陽博 金沢大学子どものこころの発達研究センター

樋口 輝彦 国立精神・神経医療研究センター / 日本うつ病センター

廣川 信隆 東京大学大学院医学系研究科

本間 さと 北海道大学脳科学研究教育センター/慶愛会札幌花園病院睡眠医療センター

御子柴 克彦 理化学研究所 脳神経科学研究センター ※

水澤 英洋 国立精神・神経医療研究センター

宮下 保司 理化学研究所 脳神経科学研究センター

※組織委員長

(2018年6月現在 五十音順)

### ○収支予算案(2018年7月時点)

収入の部				
項目	金額	備考		
1. 参加費	38,930,000 円	2860名,懇親会参加費含む		
2. セミナー共催費	8,856,000円	7件		
3. パッケージスポンサー協賛費	6,240,000円	3 社		
4. 企業展示出展料	23,058,000 円	100 小間		
5. 広告収入: HP バナー広告	432,000 円	2社		
広告収入:プログラム集広告	1,512,000 円	11 社		
6. 寄付金	21,000,000円	新潟県や各種財団等の補助金を含む		
7. 学会貸付金	3,000,000円			
合計	103,028,000円			

支出の部		
項目	金額	備考
1. 会議準備費	25,130,967円	
1) 人件費	9,535,000 円	
2) IT 制作費	4,825,200 円	HP・演題・参加登録システム含む
3) 印刷·製作費	9,140,135 円	翻訳費用を含む
4) 通信·運搬費	1,630,632 円	
2. 会議当日費	68,703,790 円	
1)会場費	17,570,557 円	
2)機材・備品費	24,137,661 円	
3)人件費	9,458,100円	
4)招聘費	7,070,535 円	
5)会議費	8,081,780 円	
6) 運営諸経費	2,385,157 円	
3. 事後処理費	5,612,490 円	
4. 予備費	3,580,753 円	
合計	103,028,000 円	

## ランチョンセミナー

## 募集ご案内

### ■ ランチョンセミナー 募集要項

ランチョンセミナーは、Neuro2019 との共催とします。

○会場: 大会の各講演会場を使用

○ランチョンセミナーの使用言語: 日本語/英語

〇日時: 2019年(平成29年)7月25日(木)~27日(土)

発表時間 - 60分(昼食時間帯を予定)

1日あたり3~6社程度の並行開催となります。申込数に応じて変更する場合があります。

※プログラムの都合により、時間帯が変更となる場合があります。

○申込方法: 別添の申込書に必要事項をご記入の上、下記申込先まで E-mail にてお送りください。

お申込み後(E-mail による申込受理後)の開催登録の取り消しはできません。ご了承の上、お申込

みください。

お申込み後に共催費をご請求書いたします。請求書に記載いたします振込口座へ期日までにお振込み

ください。

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

※手形によるお支払いはお受けできません。

○申込先: Neuro2019 展示会事務局(株式会社エー・イー企画内)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4 階

E-mail: e\_neuro2019@aeplan.co.jp

TEL:03-3230-2744

○申込締切: 2019年3月15日(金)

### ○情報公開について:

拠出いただきましたランチョンセミナー共催費につきまして各社が公表することに同意いたします。

#### ○会場・共催費

開催日	時間(予定)	席数(予定)	共催費
7月25日(木)	12:20~13:10	500 席	¥ 1,700,000
	12:20~13:10	200 席	¥ 1,500,000
	12:20~13:10	100 席	¥ 1,300,000
7月26日(金)	12:00~12:50	500 席	¥ 1,700,000
	12:00~12:50	200 席	¥ 1,500,000
	12:00~12:50	100席	¥ 1,300,000
7月27日(土)	12:00~12:50	500 席	¥ 1,700,000
	12:00~12:50	200席	¥ 1,500,000
	12:00~12:50	100席	¥ 1,300,000

※共催費は消費税を含んでおりません

※開催日、開催会場の決定は、申込書の開催希望欄を参考の上、組織委員会にて決定いたします。予めご了承ください。

### ○備考

● 講演会場設備について

大会で用意しております標準的な講演設備(プロジェクター、スクリーン等の映写機材やマイク等の音響機材)、映像・音響・照明担当の各係員は開催費に含まれております。

### また、講演を聴講することの出来る大会参加証を 1 枚お渡しいたします。

その他、ビデオ撮影やテープ録音等の機材などを用意する場合は別途費用となります。事務局までお問い合わせください。

### ●プログラム編成

プログラムの編成は、実行委員会にて決定し、事務局よりセミナー共催者へご連絡いたします。

- ランチョンセミナー共催費に下記の費用は含まれておりません。会期終了後に運営事務局(株式会社エー・イー企画)より実費ご請求させていただきます。
  - 参加者用の昼食(ドリンク・お茶等付)

時間帯が昼食時に当たりますので、昼食のご用意をお願いいたします。

お弁当類とドリンクのセット:単価1,300円程度を予定。

数量はセミナー共催者にお決めいただきます。

昼食の発注は、申込締切日以降にセミナー共催者へ発注数の確認連絡を行い、運営事務局から一括発 注いたします。

- オプション
  - ①人件費:運営スタッフ(アナウンス係、進行計時係、資料・弁当配付係、誘導係等) ※大会運営スタッフとは別途依頼発注となります。
  - ②講師、座長への謝礼、交通費
  - ③看板•表示物:会場前表示看板等
  - ④追加機材: 収録機材(録音·録画)、同時通訳、控室機材等
  - ⑤控室:部屋代、飲食費
  - ⑥業務運営費
    - ※上記オプションに申し込まれた場合には、オプション費用の合計額に手数料 10%を併せてご請求いたします。
- 本大会のランチョンセミナーは大会参加登録者が整理券を大会ホームページから予約できる、**ランチョンセミナー整理券事前予約システム**を使用する予定でございます。各セミナーの予約者の情報は、セミナー共催者に提供いたします。詳細なスケジュール、手続きにつきましては申込後、担当者よりご案内いたします。
  - ○取得個人情報とシステムご利用についてのご注意

本予約システムのご利用と取得された個人情報について下記条項をご確認いただき、セミナー申込書のチェック欄にご記入いただけますようお願い申し上げます。

- ① 取得した個人情報についての転売はしない。
- ② 取得した個人情報はご本人の同意を得ていない限り自社内のみの利用とする。
- ③ 情報提供及び連絡等について個人が拒否をした場合、その個人情報の利用を取りやめる。
- ④ 取得した個人情報の流失、漏えいに対して個人情報管理者を置き適切な予防策を講じる。
- ⑤ 明らかに誤りとわかる個人情報を何らかの形で入手した場合は、その利用をせず削除する。
- ⑥ その他個人情報保護法に準じた適切な措置を講じる。

### Neuro2019

### ランチョンセミナー 申込書

申込締切日:2019年3月15日

			申込日:	年	月	F
	JPN					
申込社 日本語、英語を両方ご記入ください	ENG					
	(〒 − )					
所 在 地	住 所					
	氏名		TEL			
ご担当者	所属部署					
	E-mail アドレス: ※申込後にご連絡いたします ので必ずご記入ください。					
□取得	身個人情報とシステムご利用についてのご注意に関	する文章を読み	承諾いたしました	÷_0		
1.申込内容	開催日と希望席数をご記入ください。例:第1希望セミナー ※第2希望セミナーまでご記入ください。	-: 7月 <u>20</u> 日 希望	席数_500_			
第1希望セ	ミナー: 7月日 希望席数	<u>金額</u>		円(消費税別	<u>l)</u>	
第2希望セ	ミナー: 7月日 希望席数	<u>金額</u>		円(消費税別	<u>l)</u>	
2.プログラム内容	:(予定)					
テーマ:						
演者:	氏名	所属				
座長もしくに	は司会: □ 座長 □ 司会					
	<u>氏名</u>	所属				
通信欄 ※お問い	い合わせがございましたらご記入ください。					

●お問合せ申込書送付先: Neuro2019 展示会事務局 (株式会社エー・イー企画内) E-mail(専用) e\_neuro2019@aeplan.co.jp / TEL. 03-3230-2744